



施設行事

秋冷が肌に染みるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。
体調を崩されないようお気をつけ下さい。

8.5 夏祭り

第2回桜の森白子ホーム夏祭りが開催されました！たこ焼き・ベビーカステラ・かき氷・チョコフォンデュ・ヨーヨー釣り・玉入れなどがありました。それに加え今年は、藤岡ナースによる歌謡ショーや、吉村統括主任によるギター演奏、鈴鹿医療科学大学の学生さんによる三味線演奏などもあり、去年よりもパワーアップした夏祭りになったのではないかと思います。来年も、乞うご期待☆



9.10 白子元気花火

今年も、白子の元気花火をベランダから皆で鑑賞しました！今年は去年よりも迫力があり、皆さん大満足でした☆



行事予定



10.15 野外調理

(焼き鮭・豚汁・厚焼き卵・
炊き込みごはん)

11.9 寿司バイキング

12.24 クリスマス会

初めまして。ショートステイの生活相談員の小野大介（おの だいすけ）と申します。私事ですが、今年の5月に第二子の男の子を授かり家族4人になり、二児の父親になりました。

桜の森白子ホームの開所時は、三階花のまちのユニットリーダーとして働いていました。縁あって桜の森白子ホームに入居された皆様が、今までの暮らしが継続できるように、入居者一人ひとりに目をむけて支援を行ってきました。昨年の8月よりショートステイ・デイサービスの在宅支援部門の副主任として働いていましたが、今年の1月より生活相談員としてショートステイの入所に関わらせていただいています。本施設のショートステイは、今年の5月より海のまち（10床）、山のまち（10床）のユニットがオープンし、定員20名で本格稼働しました。

ショートステイでは、利用者様や家族様が、また桜の森のショートステイを利用したいと思っただけでなく、ユニット職員と協力しあいながらさまざまな工夫をしています。例えば、パソコンゲームの好きな方、野菜作りの好きな方、散歩が好きな方、外出が好きな方など、それぞれの暮らしに合わせて環境設定を行い、その他に、買い物やドライブ等も実施しながら生活に変化を取り入れています。誰でも、生活は自分の好きなスタイルがあり、そのスタイルを尊重することを大切に支援させていただいています。

専門職紹介



ショートステイは
おやつ作りに力を入れています



カステラ



ヨーグルト



蒸しパン



相談員としての主な業務は、施設、他事業所、家族様との連携調整とユニットにも携わり、利用者様の利用中の状態把握です。特に、ケアマネージャーとは密に連絡を取り、利用中の身体的・精神的状態の報告と家族様が安心して休息がとれるように利用日の調整や、必要に応じて医療的な調整についても、支援させていただいています。

今後も家族様のご希望に添いながら、利用者様一人ひとりに応じたケアを実施することを目標に支援に努めていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

ユニット紹介

月のまち3丁目



月の町3丁目ユニットリーダーの江口諒です。今年の3月に九州から鈴鹿へ移住をして4月より桜の森白子ホームへ勤めさせていただいています。初めは慣れない土地で戸惑うことも多々あり、また自分の今までの経験がこの桜の森白子ホームで力になれるか不安もありましたが、半年ほど経ち、少しずつではありますが環境にも慣れ馴染み始めていると感じています。

私の所属する月の町3丁目では、私の今までの経験や知識から「歳を取っても出来ることはある」、「元気になる」をモットーに取り組みをさせていただいています。より気持ちよく過ごしていただきたいという想いから、紙パンツ、紙おむつの使用を止め、ご本人用の布パンツを使用するようにしました。それに伴い排泄介助の時間の見直しを行い、職員の意識も少しずつ変わりつつあります。入居者からは「始めは不安だったけど、気持ちがいい。もう元に戻せない最高!」といううれしい言葉もいただいています。また、食事形態の変更も行ってきました。さらに、9月からは、よりその人らしく自宅で過ごされていたように過ごしていただくという想いから、夕方から夜間にかけての入浴を開始して入浴環境の改善に取り組んでいます。



五平餅をおやつ作りで。

7月25日風の町3丁目と合同でベランダにて流しそうめんを行いました。



私たちの力不足で入居者の皆様にはご迷惑をかけてしまっていることもありましたが、よりよいユニットにして行く為に私たち職員一同精一杯努力して改善に努めていきたいと思っています。

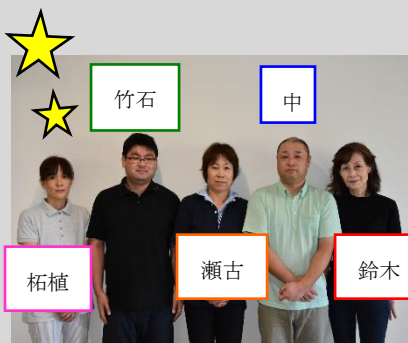
また今後は入居者個人に合わせた取り組みや地域行事への参加、季節ごとのイベントなどを行っていききたいと思っておりますのでその際はご家族の皆様を初め関係者様のご協力よろしくお願いいたします。まだまだ経験の浅い職員も多いユニットではありますが、だからこそ出来る事、感じることもあり、これから多くの可能性を秘めているユニットだと感じています。頼りない私たちではありますが今後もしっかりお願いいたします。

月のまち2丁目

男性2名、女性8名の方が生活される個性豊かなユニットです。「利用者様、家族様、職員が何でも話し合えるあたたかいユニット」を目標にしています。幸い、スタッフにも恵まれ、利用者様と毎日笑わせたり笑わせてもらったりと和気藹々と過ごしています。

人は最期まで人間らしく…との思いから、オムツで入所された方を紙パンツ・布パンツへ移行、トイレでの排泄が可能となり、胃ろうの方が看護師の協力も得、今ではペースト食を召し上がられるようになりました。食べる事が楽しみな方が多く、軽食やおやつ作りをした時は「寝とる方が楽や…」と言っておられる方も我先にとフロアーに来てくれます。これからも皆さんに楽しんでいただける計画を立てていきたいと思っています。

大変な時代を乗り越えてこられた方達ばかり、利用者様の一日一日を大切に思い安心・安全に過ごしていただける様、私達スタッフは日々努力していきます。



ユニットリーダーをさせて頂いています。鈴木早苗です。人生最後に介護の仕事に就かないと悔いが残ると思い、念願だった介護の仕事に49歳で就きました。利用者様やスタッフに助けられてばかりの私ですが、「人生最後にこの職員に出会えて良かった」と思っただけで、心ある職員になりたいとの思いは今も変わっていません。介護させて頂ける幸せを感じて今日この頃です。

最後にこの場をお借りして、皆様には、日頃より御理解・御協力を賜りスタッフ一同大変感謝しております。行き届かない事ばかりですが、今後共よろしくお願い申し上げます。

月2ユニットの皆様です。

